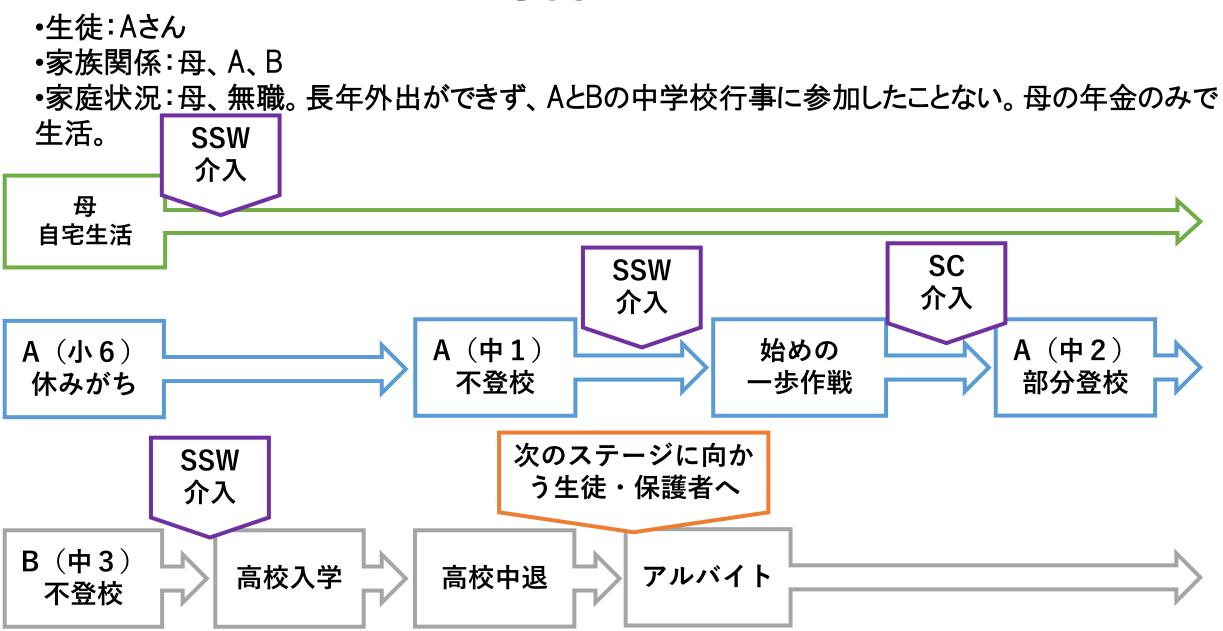
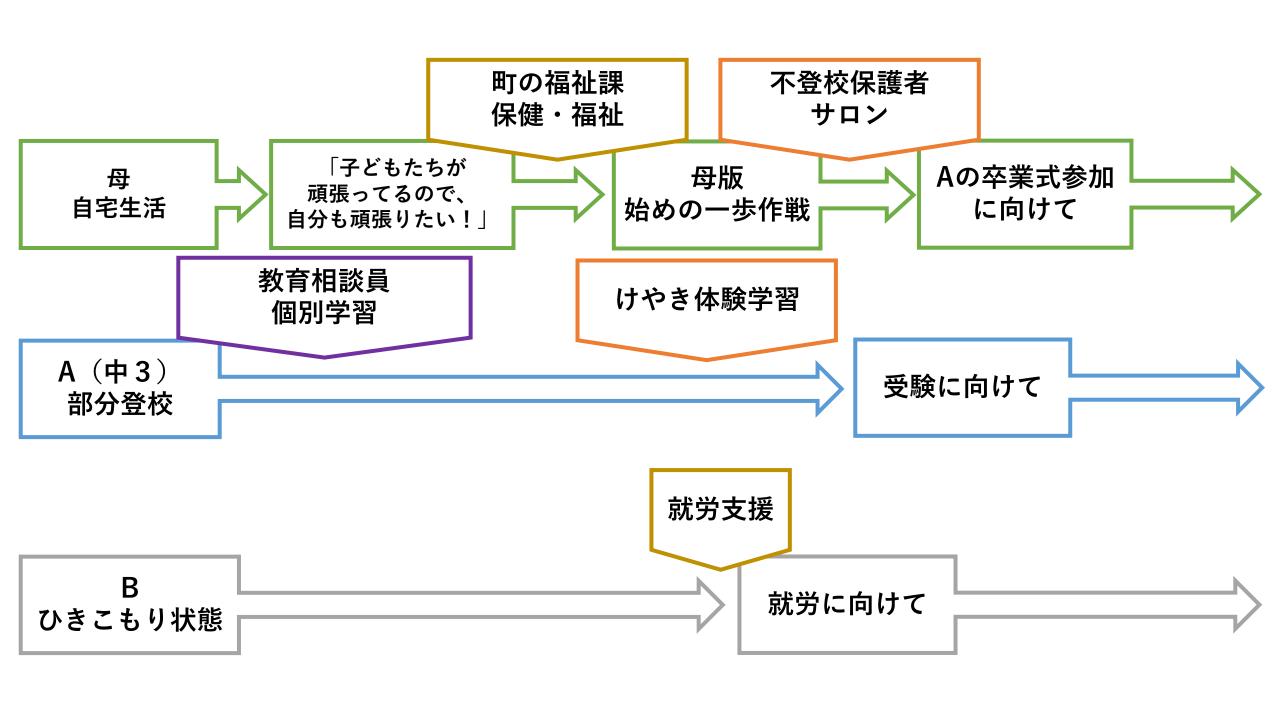
子ども、家庭、地域と共に歩むける。と共に歩むける。大学校編)

けやき相談チーム スクールソーシャルワーカー 南景元

事例をとおして





けやき相談チーム

- 指導主事
- 大森教育相談員
- 道岡スクールカウンセラー
- 佐藤スクールソーシャルワーカー(県派遣)
- 南スクールソーシャルワーカー

次のステージに向かう生徒・保護者へ

構想

「大槌町在住の高校生」が何らかの理由で在籍変更(転校、退学など)する際に、適切な支援を利用しながら自立を実現する。

目的

- ・生徒が在籍変更によって社会的に 孤立せず、個別最適化された支援 を実現
- 若者のひきこもり防止を実現

実施の流れ

在籍変更が決定

- 高校→生徒・保護者に「次の・・・」
 申込書
- 2. 申込書:支援希望確認
- 3. 高校→大槌教育委員会に申込書 送付
- 4. 教育委員会が支援希望確認後、関係機関と連携・支援

支援機関の概要

大槌町 健康福祉課

家族との関係・

心身の不調等

大槌町社会福祉 協議会

对人関

係・社会

活動参加

等

みやこ若者サポート ステーション

就労希望

等

学習・

何となく不安等

大槌町 教育委員会

・ 必要によって、他機関とも連携を行う。

けやき体験学習

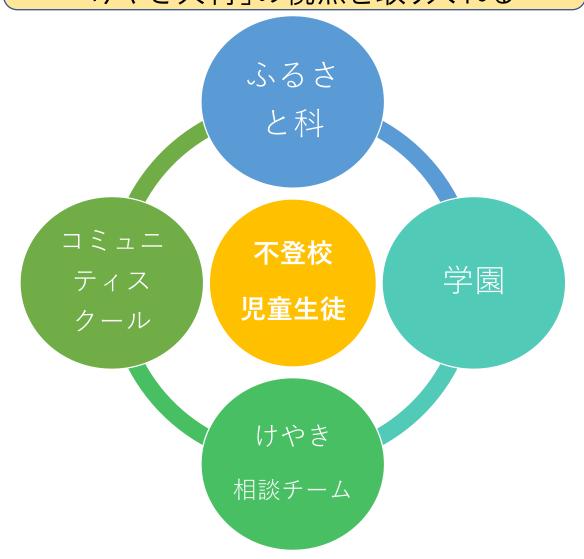
構想

不登校児童生徒が参加するふるさと科「けやき体験学習」を実施する。

目的

- 地域の先生(ふるさと科)からの話や体験をとおして、児童生徒の多様で生きた学びを保障する。
- 児童生徒が地域とつながることによって、地域社会の一員として暮らしている実感を持つ。
- 地域の不登校・引きこもりへの理解 を深め、誰もが生きやすい地域作り を目指す。

ふるさと科に 「けやき共育」の視点を取り入れる



実施の流れ



担任や支援チームから 児童生徒に説明



スクールバスで移動



ふるさと科活動



不登校状態・学 級活動が困難な 児童生徒



対面が難しい場合、 案内状で説明



保護者の送迎で移動



学習様子







不登校保護者のサロン

構想

不登校児童生徒保護者の集まりを実施する。

目的

- 保護者同士の繋がりを作ることに よって保護者の孤立を防ぐ。
- 保護者同士の情報交換などにより不 登校の理解を深める。
- 教育委員会が保護者の生の声を聞くことができる。

内容

- 年2回、保護者のサロンを実施する。
- 不登校経験者の体験談や不登校向けの情報を共有する。

特色

- けやき相談チームが開催することによって、アフターフォローを行う。
- 今度は、保護者から「自分たちで やれることをやってみたい!」と の動きに変わった。

保護者サロンの様子(夏)

『親子で癒すアロマセラピー』

○場所:大槌町こども教育センター

OLAI(大槌交番前)

〇日時:2023年7月 26日(水)

17時 30 分~19時(出入り自由)

〇内容:アロマセラピー・ハンドトリートメント

○持ち物:フェイスタオル(腕の下に敷いたり、腕につけたオイルを拭き取ります。)

*申し込みは、不要です。参加費は、ありません。

講師:道岡さん

大槌町・スクールカウンセラー。公益社団法人日本アロマ環境協会・アロマセラピスト

こんな方に、おススメします。

「わが子も自分なりに頑張っているだろうのにな、何か癒してあげたいなと思っている保護者」、「お家の人にいつも支えてもらっているけど、なかなか気持ちを伝えてないなという児童生徒」「色々悩んで疲れたなという方」、、、、それぞれでもいいですが、親子での参加をお勧めします。

*この会は、学校に行けない、行かない状態である(前年度欠席 30 日以上を含む) 児童生徒・保護者に限定して案内している会です。ここでの話は、みんなで秘密を守ります。



大森教育相談員



道岡SC

保護者サロンの様子(秋)

『現役高校生の話を聞きに来ませんか?』

〇場所:大槌町こども教育センター OLAI(大槌交番前)

〇日時:2023年10月28日(土)

13時30分(1時間程度、出入り自由)

プログラム

第1部・・・現役生・卒業生から

高校 定時制

高校 通信制

高校 定時制

学園 通信制

(学校生活etc...について)

第2部…個別相談会

〇申込:10月24日(火)まで

QRコードまたは、お問合せ先まで

勉強は、





公教育の可能性を広げる けやき共育